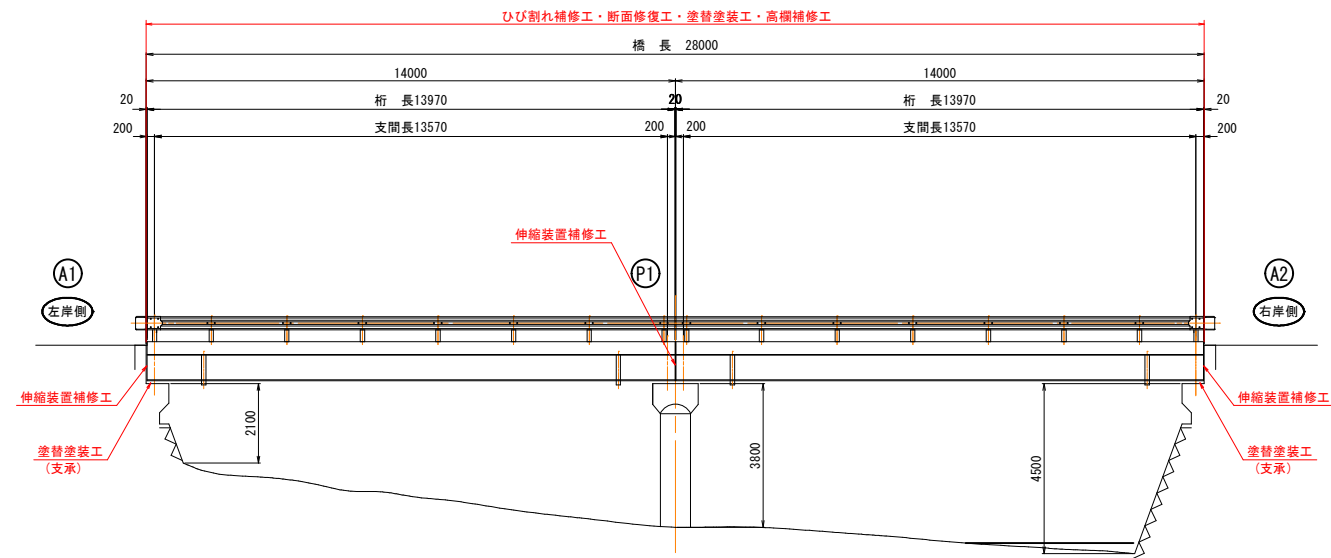
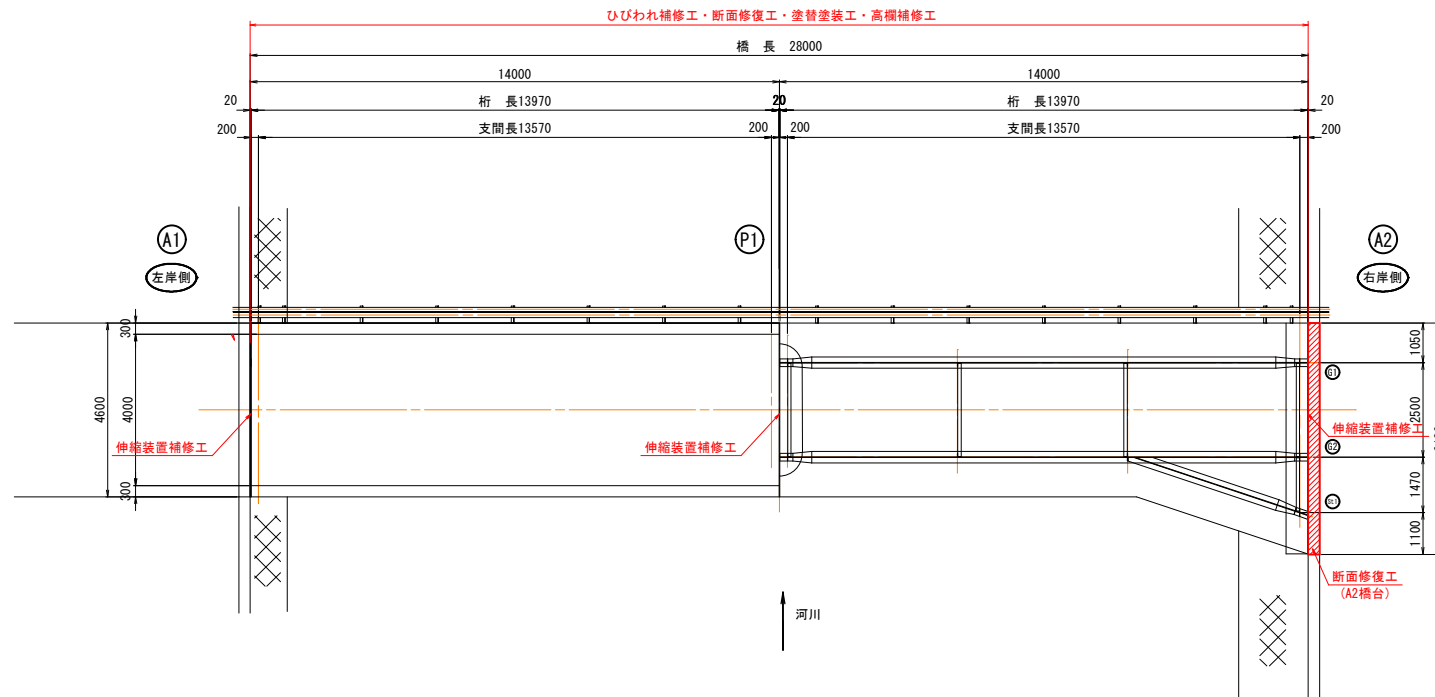


浜原橋 補修計画一般図

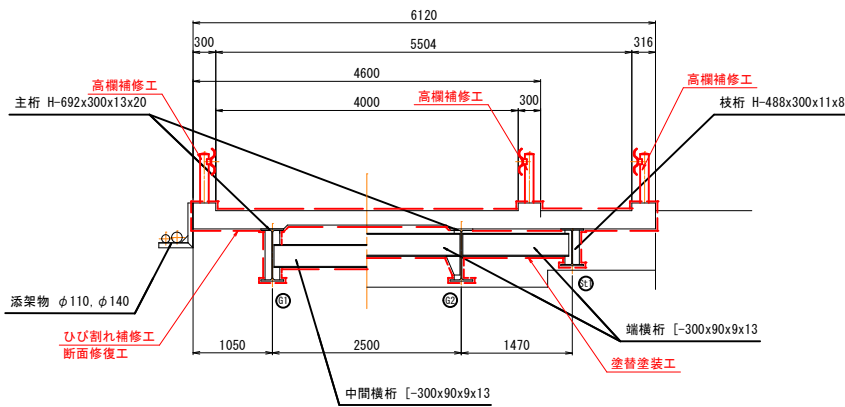
側面図 S=1:100



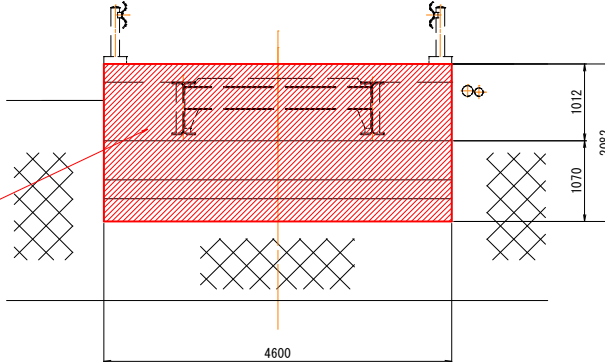
平面図 S=1:100



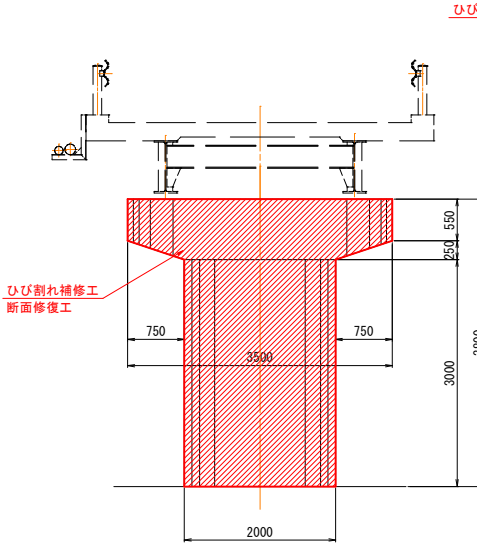
断面図 S=1:50



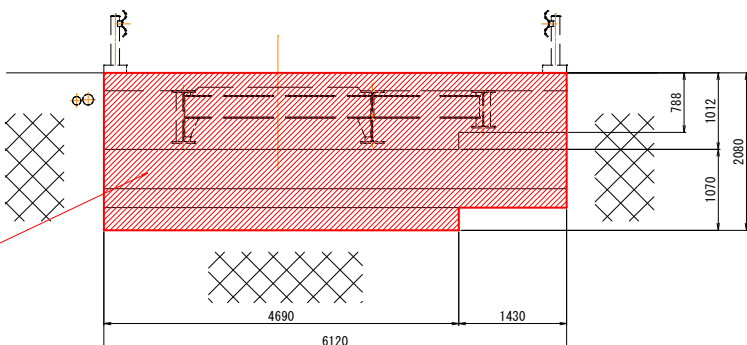
A1橋台正面図 S=1:50



P1橋脚正面図 S=1:50



A2橋台正面図 S=1:50



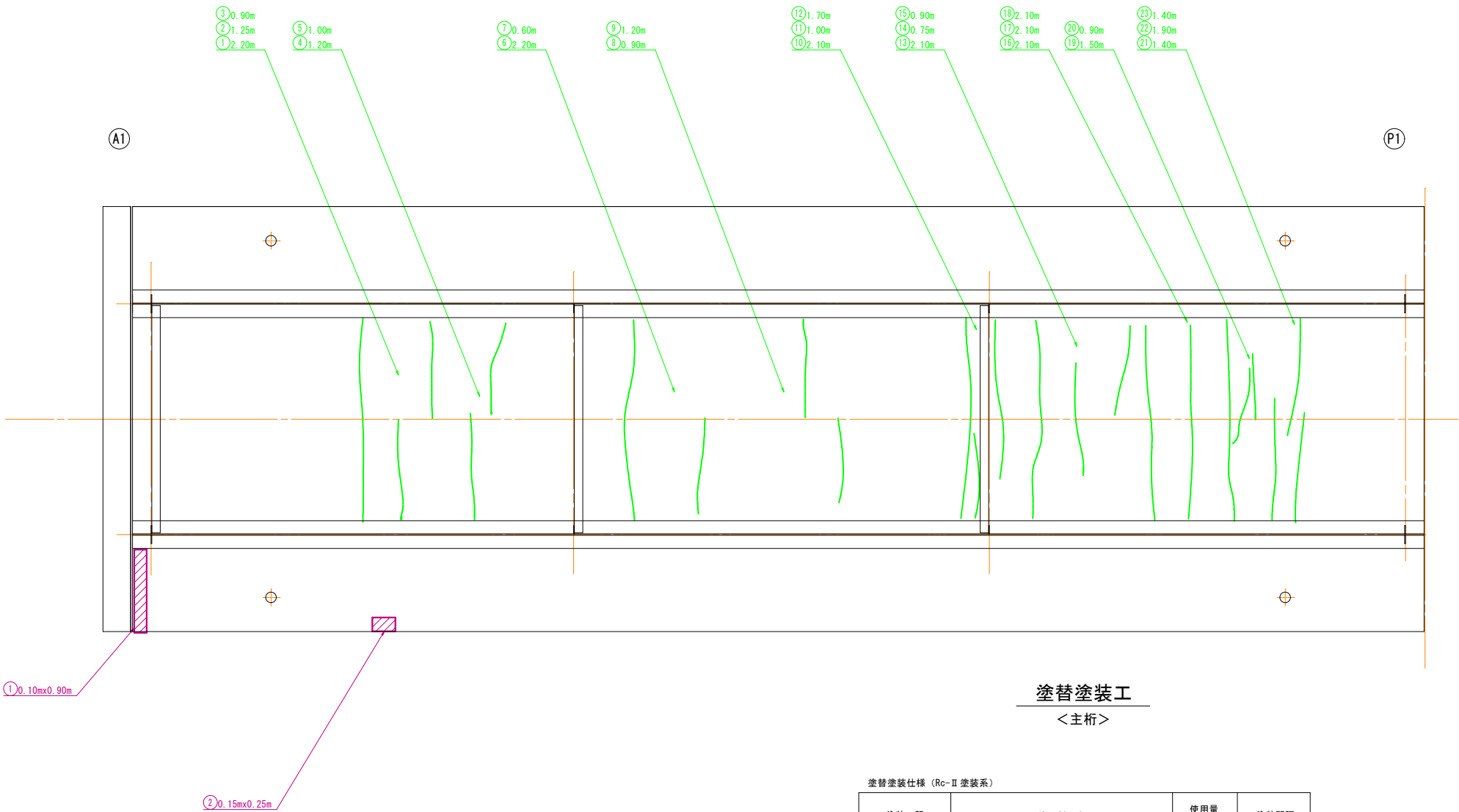
注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 補修計画一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

浜原橋 上部工補修図（その1）

S=1:30

第1径間 床版
平面図(床版下面)



塗替塗装工

<主桁>

塗替塗装仕様 (Ro-II 塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2 種 ケ レ ン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

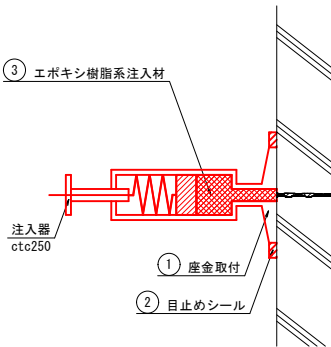
「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)」より

- ※ 1. 現況塗膜には、有害物質である「PCB、鉛、総クロム」が含まれている。
- ※ 2. 施工時には、有害塗膜に対する粉塵対策(安全な塗膜除去)や適性な処理が必要である。
- ※ 3. 素地調整は、塗膜剝離剤にて旧塗膜を除去した後、動力工具などにより素地調整2種相当を確保する計画としている。
- ※ 4. 塗膜剝離剤は、人体に優しく安全に塗膜除去作業が出来るアルコール系等を用いること。
(塩化メチレン系は使用しない)
- ※ 5. 塗膜剝離剤塗布・塗膜除去回数は、2回分の数量を見込んでいる。
- ※ 6. 有害物質の処理は、特別管理産業廃棄物に該当するため、適切な処分や運搬を行うこと。

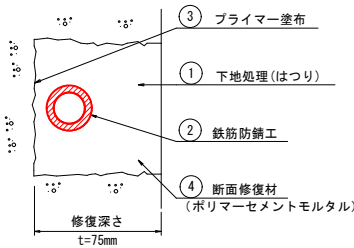
注 記

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

ひび割れ補修工
【注入工】



断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が著しい減肉が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

凡 例

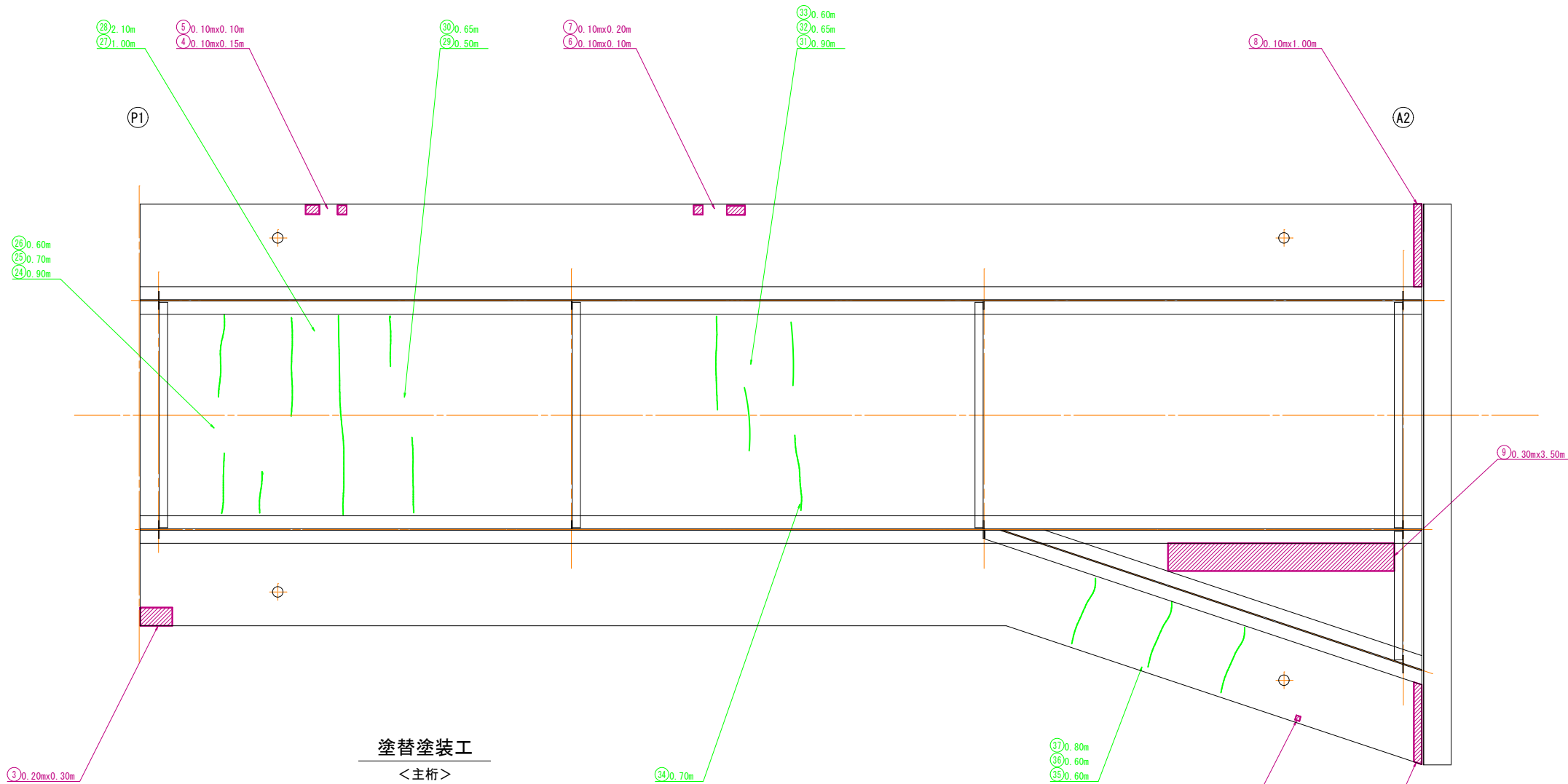
表 示	補修の種類
長さ (m)	ひび割れ注入工 (幅0.2～0.5mm未満)
	断面修復工

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 上部工補修図(その1)		
縮 尺	S=1:30	図面番号	2 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

浜原橋 上部工補修図（その2）

S=1:30

第2径間 床版
平面図(床版下面)



塗替塗装工
＜主桁＞

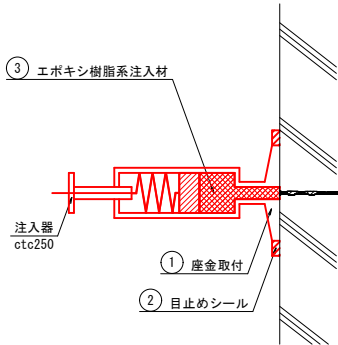
塗替塗装仕様（Rc-II 塗装系）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2 種 ケ レ ン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

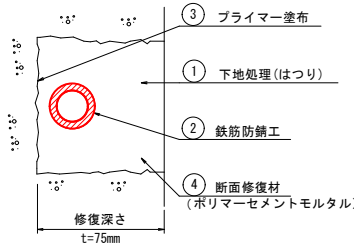
「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)」より

- ※ 1. 現況塗膜には、有害物質である「PCB、鉛、総クロム」が含まれている。
- ※ 2. 施工時には、有害塗膜に対する粉塵対策(安全な塗膜除去)や適性な処理が必要である。
- ※ 3. 素地調整は、塗膜剝離剤にて旧塗膜を除去した後、動力工具などにより素地調整2種相当を確保する計画としている。
- ※ 4. 塗膜剝離剤は、人体に優しく安全に塗膜除去作業が出来るアルコール系等を用いること。
(塩化メチレン系は使用しない)
- ※ 5. 塗膜剝離剤塗布・塗膜除去回数は、2回分の数量を見込んでいる。
- ※ 6. 有害物質の処理は、特別管理産業廃棄物に該当するため、適切な処分と運搬を行うこと。

ひび割れ補修工
【注入工】



断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が著しい減肉が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

凡 例

表 示	補修の種類
長さ (m)	ひび割れ注入工 (幅0.2～0.5mm未満)
	断面修復工

注 記

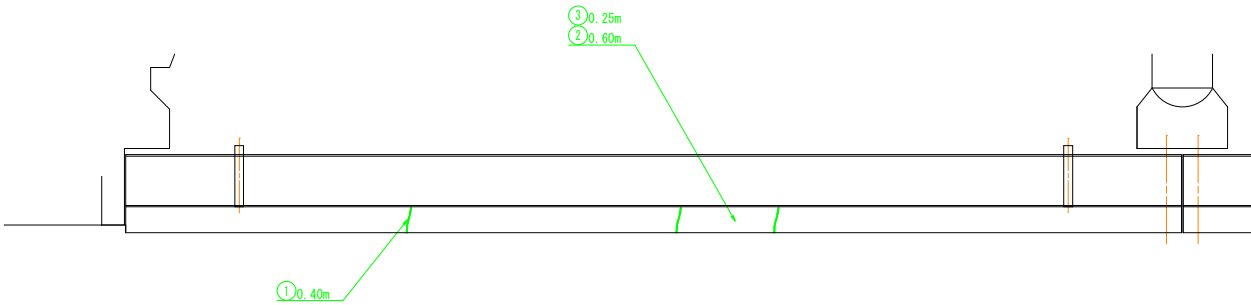
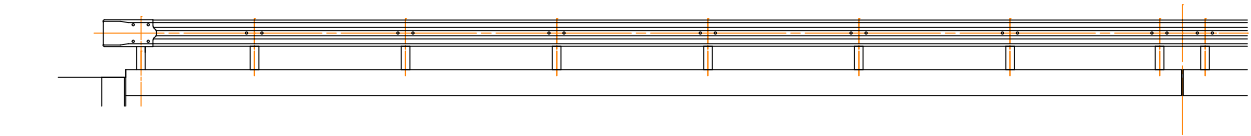
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 上部工補修図（その2）		
縮 尺	S=1:30	図面番号	3 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

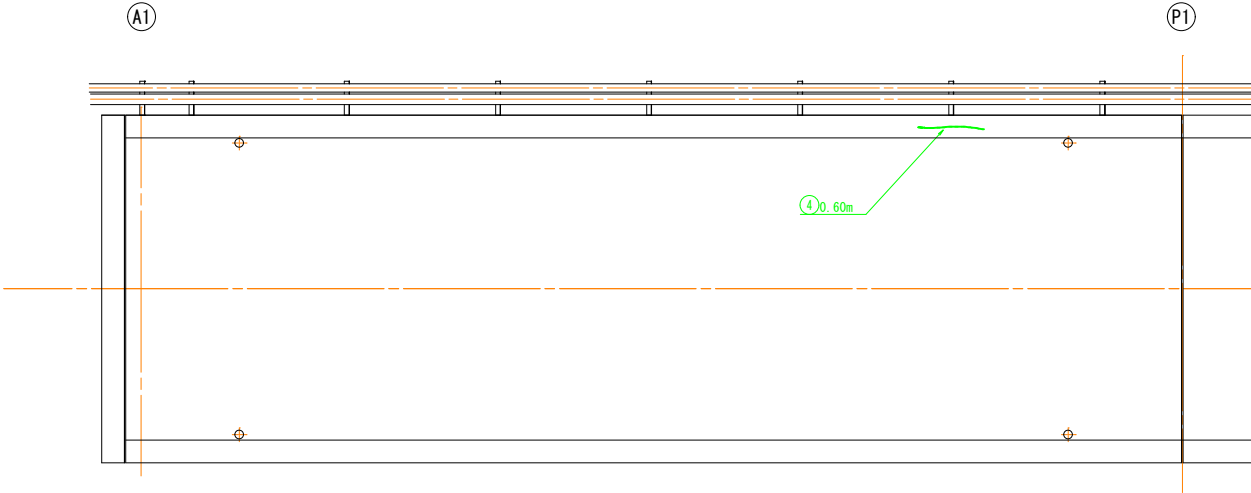
浜原橋 上部工補修図（その3）

S=1:50

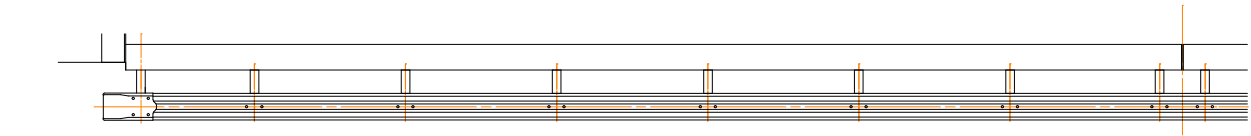
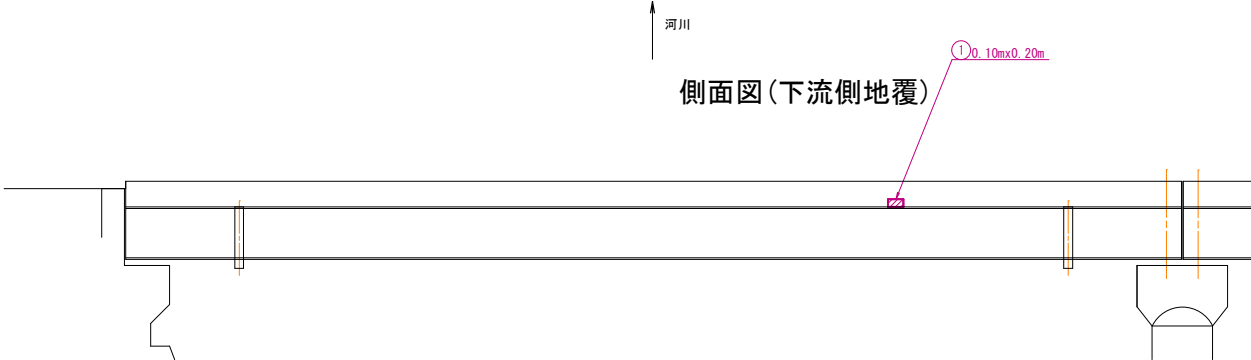
第1径間
側面図(上流側地覆)



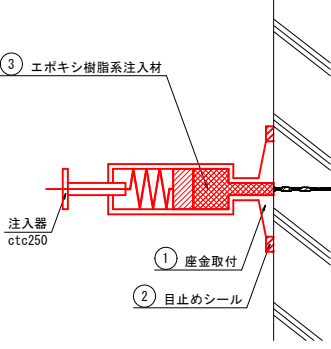
平面図(橋面)



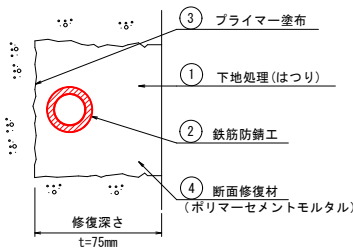
側面図(下流側地覆)



ひび割れ補修工
【注入工】



断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が著しい減肉が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

塗替塗装工

<主桁>

塗替塗装仕様 (Rc-II 塗装系)			
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2 種 ケ レ ン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)」より

- ※ 1. 現況塗膜には、有害物質である「PCB、鉛、総クロム」が含まれている。
- ※ 2. 施工時には、有害塗膜に対する粉塵対策(安全な塗膜除去)や適性な処理が必要である。
- ※ 3. 素地調整は、塗膜剥離剤にて旧塗膜を除去した後、動力工具などにより素地調整2種相当を確保する計画としている。
- ※ 4. 塗膜剥離剤は、人体に優しく安全に塗膜除去作業が出来るアルコール系等を用いること。
(塩化メチレン系は使用しない)
- ※ 5. 塗膜剥離剤塗布・塗膜除去回数は、2回分の数量を見込んでいる。
- ※ 6. 有害物質の処理は、特別管理産業廃棄物に該当するため、適切な処分や運搬を行うこと。

凡 例

表 示	補修の種類
長さ (m)	ひび割れ注入工 (幅0.2～0.5mm未満)
	断面修復工

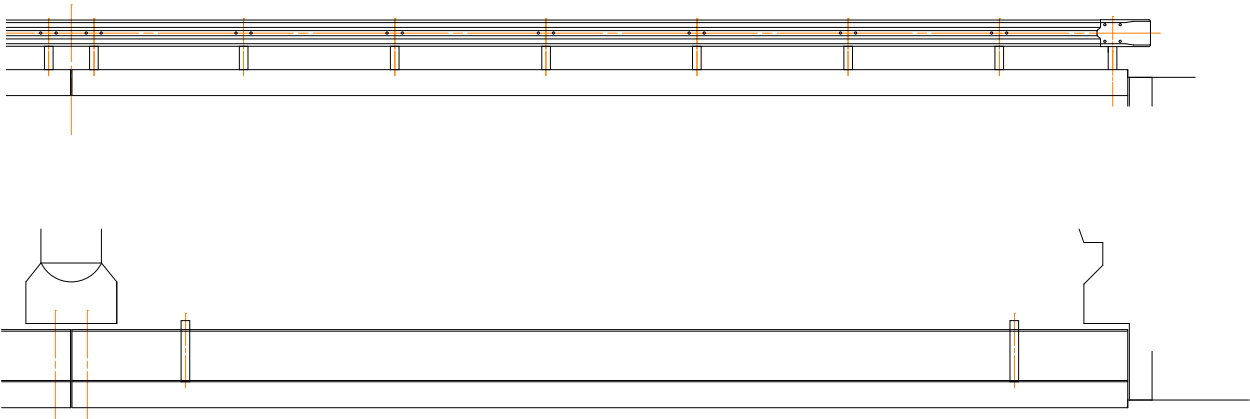
- 注 記
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 上部工補修図(その3)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

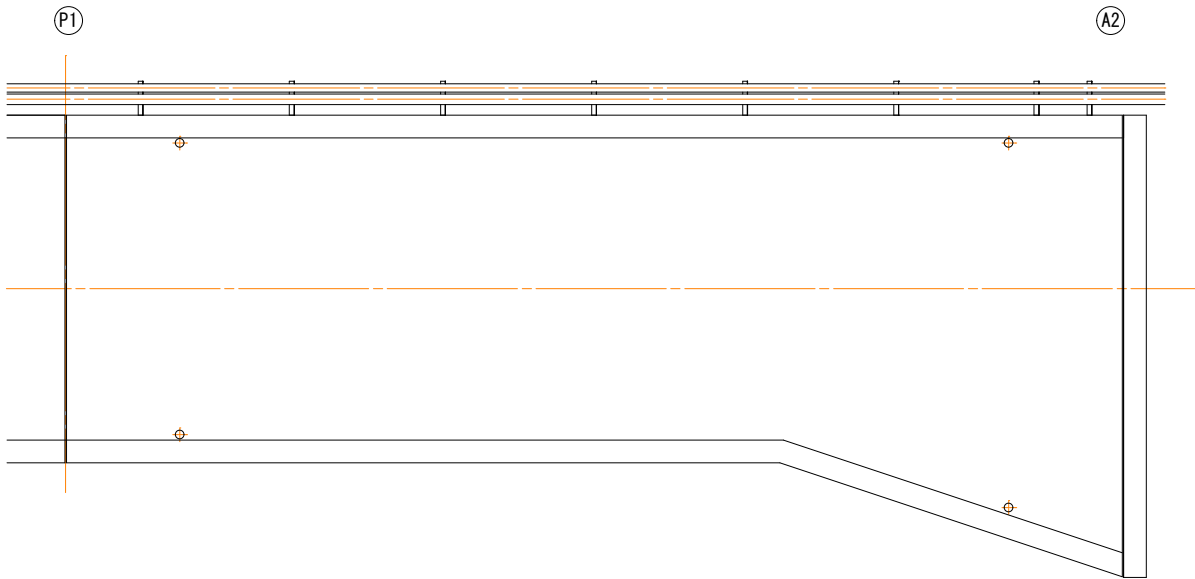
浜原橋 上部工補修図（その4）

S=1:50

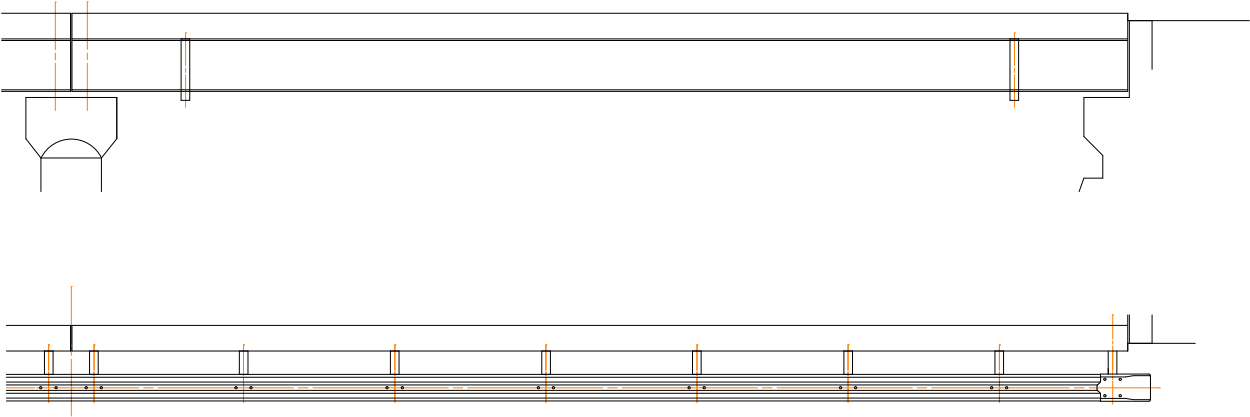
第2径間
側面図(上流側地覆)



平面図(橋面)



側面図(下流側地覆)



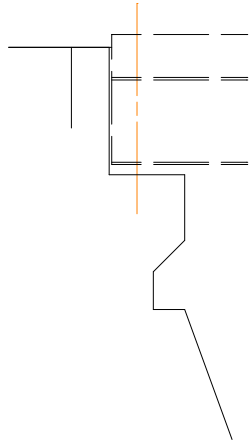
注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 上部工補修図（その4）		
縮 尺	S=1:50	図面番号	5 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

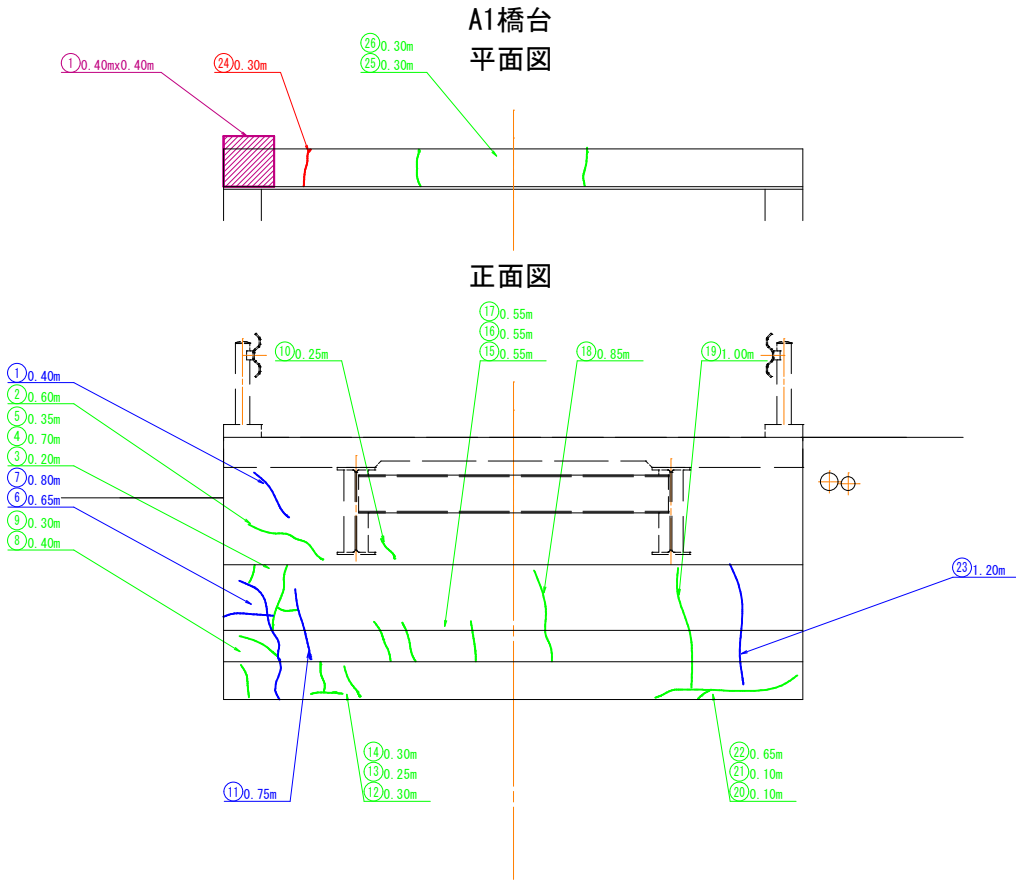
浜原橋 下部工補修図（その１）

S=1:30

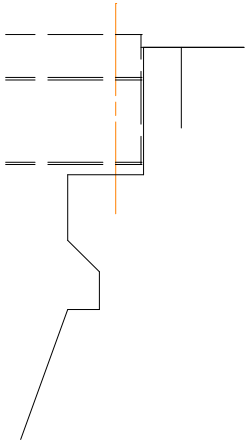
側面図（下流側）



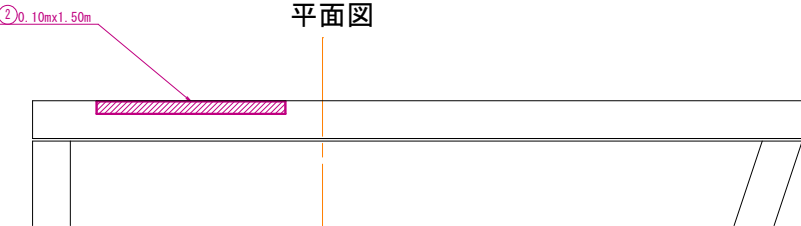
正面図



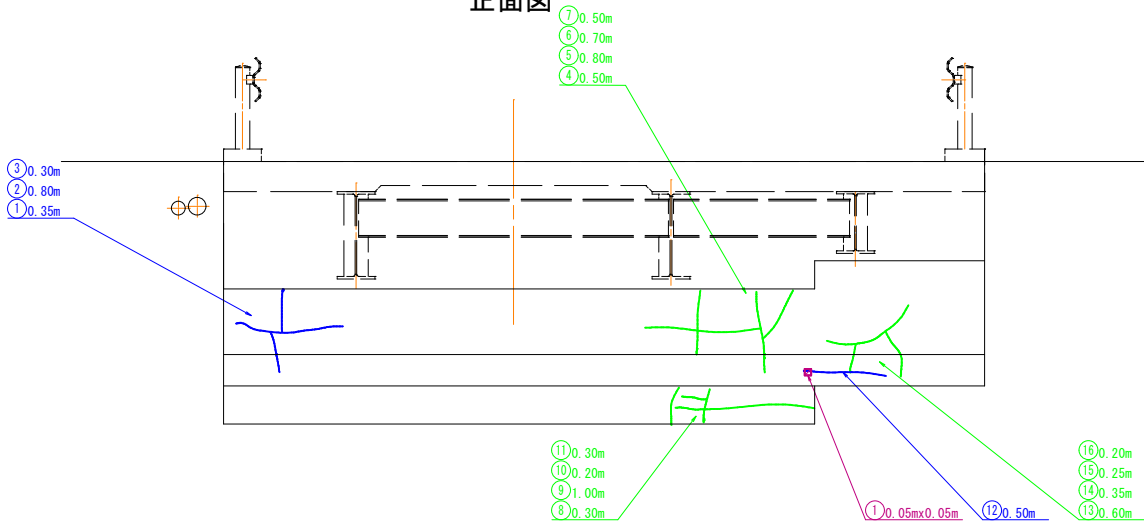
側面図（上流側）



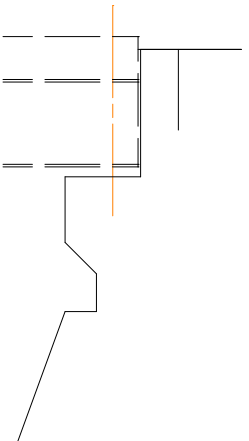
A2橋台
平面図



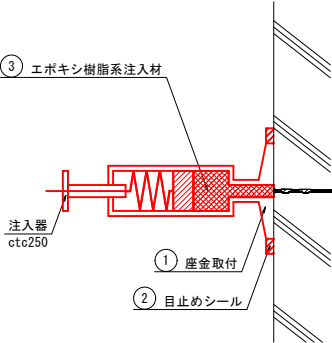
正面図



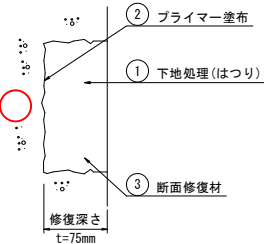
側面図（下流側）



ひび割れ補修工
【注入工】



断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が著しい減肉が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

凡 例

表 示	補修の種類
長さ (m) ひび割れ注入工 (幅0.2~0.5mm未満)	ひび割れ注入工 (幅0.2~0.5mm未満)
長さ (m) ひび割れ注入工 (幅0.5~1.0mm未満)	ひび割れ注入工 (幅0.5~1.0mm未満)
長さ (m) ひび割れ注入工 (幅1.0mm以上)	ひび割れ注入工 (幅1.0mm以上)
断面修復工	断面修復工

注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

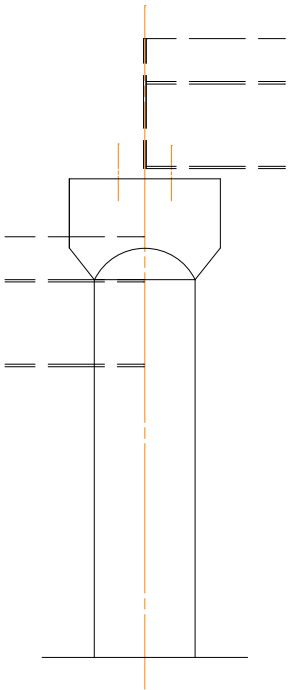
工事名	市道三田谷線 (浜原橋) 補修工事
図面名	浜原橋 下部工補修図 (その 1)
縮 尺	S=1:30 図面番号 6 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課

浜原橋 下部工補修図（その2）

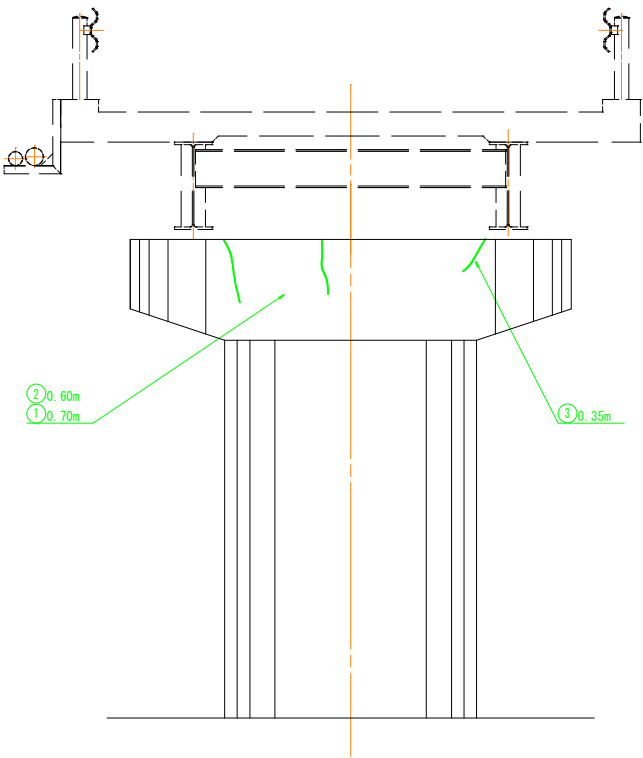
S=1:30

P1橋脚

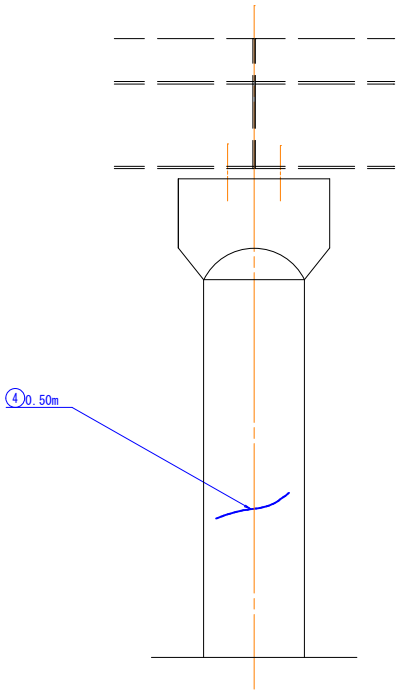
側面図(左側)



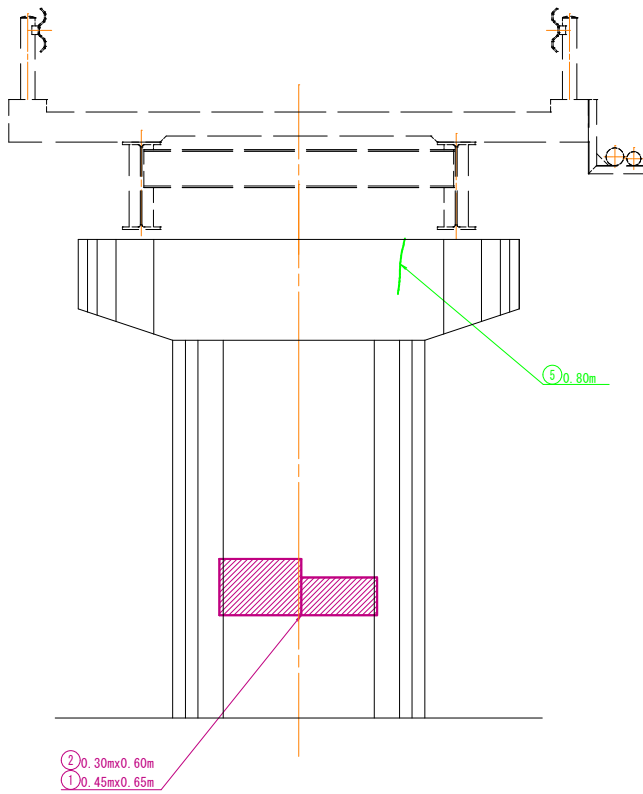
正面図(起点側)



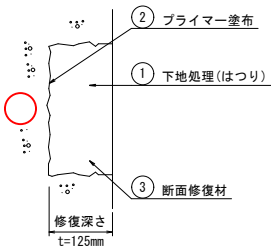
側面図(右側)



正面図(終点側)

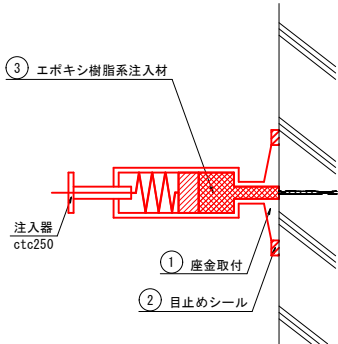


断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が著しい減肉が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

ひび割れ補修工
【注入工】



凡 例

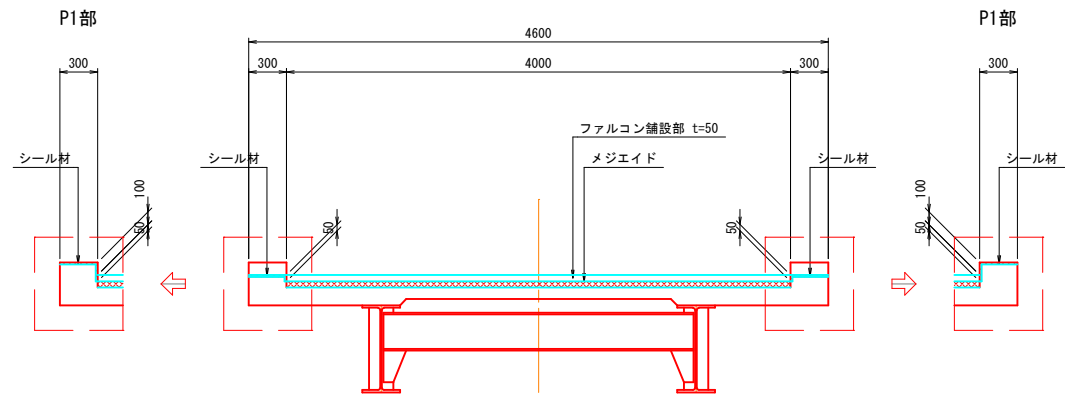
表 示	補修の種類
長さ (m)	ひび割れ注入工 (幅0.2~0.5mm未満)
長さ (m)	ひび割れ注入工 (幅0.5~1.0mm未満)
	断面修復工

注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

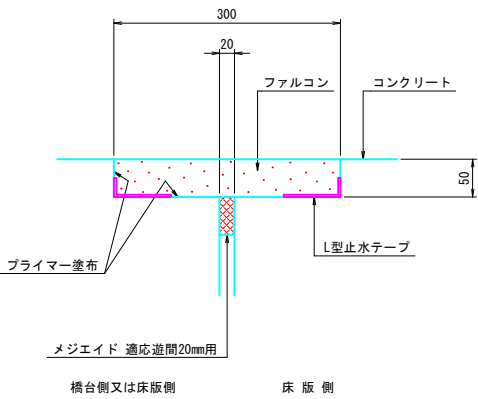
工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 下部工補修図(その2)		
縮 尺	S=1:30	図面番号	7 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部	建設課	

浜原橋 伸縮装置補修工図(クラック抑制工法相当品)

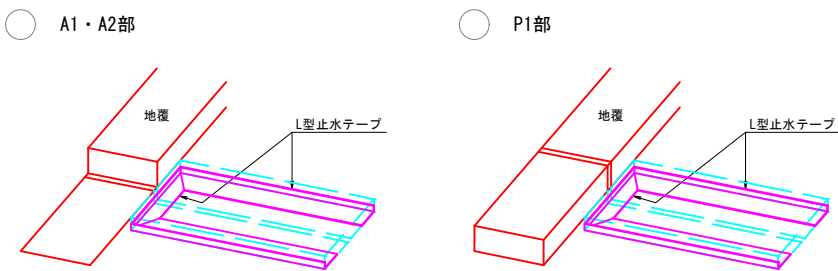
A1・P1部 断面図 S=1:30



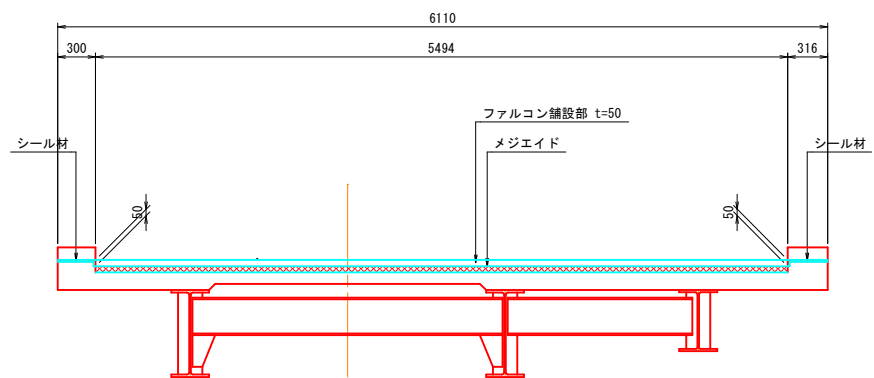
弾性合材舗設断面図 S=1:5



施工境界部イメージ図

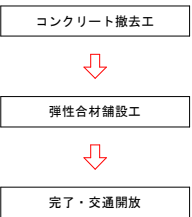


A2桁端部 断面図 S=1:30

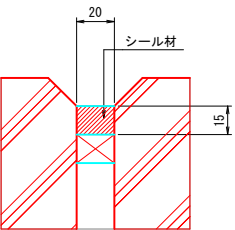


- 注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2) ファルコン舗設箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
注3) ファルコンを舗設する際には、L型止水テープを使用すること。
注4) L型止水テープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
注5) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

施工フロー



地覆部断面図 S=1:2



数量表（設置）

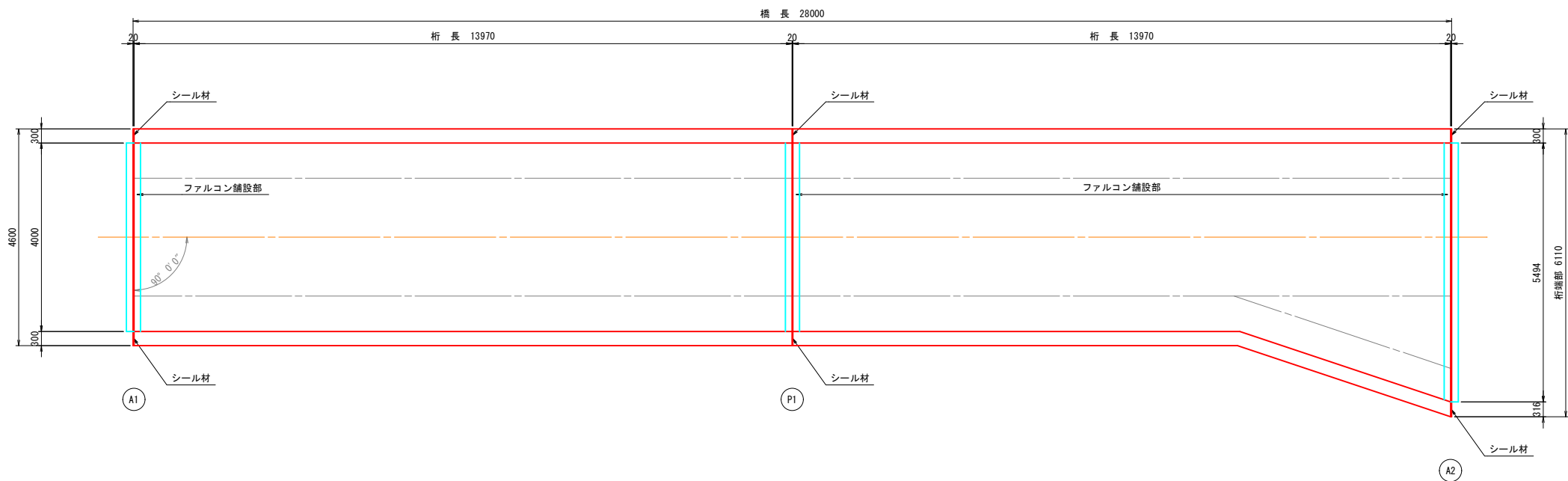
名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
施 工 延 長	-	m	13.494	
プライマー	F C コ ー ト	L	2.7	
弾 性 合 材	フ ァ ル コ ン	m ³	0.202	
止 水 材	メジエイド（適応遊間20mm用）	m	13.494	
止水目地材	L型止水テープ（高弾性）	m	29.076	

※ 斜角は資料を基に計測した数値である。

数量表（他材料）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	L	0.7	

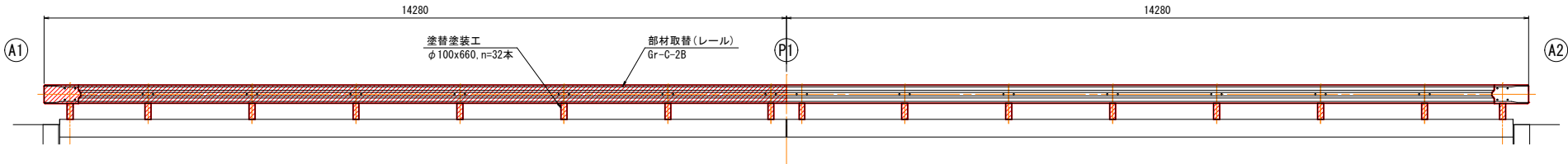
平 面 図 S=1:60



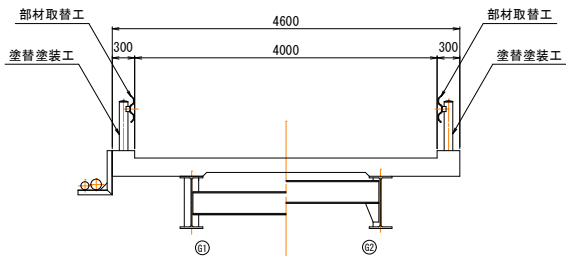
工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 伸縮装置補修工図(クラック抑制工法相当品)		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

浜原橋 橋面補修工図

高欄補修工 S=1:60
〈上下流防護柵共通〉



断面図 S=1:50



高欄補修工数量表 (1橋当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
レール取替	Gr-C-2B	m	57.1	
塗替塗装工	Rc-11塗装系	m ²	6.6	支柱

注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 既設舗装に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸整正を行うこと。

工事名	市道三田谷線(浜原橋)補修工事		
図面名	浜原橋 橋面補修工図		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 9
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		